

十日町高等学校クロス探究科で活動する地域おこし協力隊の

委嘱式を実施します

このたび、十日町高等学校クロス探究科において、大学や専門機関、地域企業等と連携した探究的な学び及びSTEAM教育の推進を目指す「新潟県地域おこし協力隊（ニイガタコラボレーターズ）※」が令和8年10月21日に着任しました。

今回委嘱する地域おこし協力隊員は、教育連携コーディネーターとして十日町高等学校を拠点に活動し、高校・大学・専門機関・地域企業等が協働する教育コンソーシアムの構築や、大学の出前授業・外部講師との連携調整、活動の情報発信等を担います。活動に当たっては、一般社団法人にいがた圏が受入先となり、十日町高等学校及び県と連携して隊員をサポートします。

については、下記のとおり委嘱式を実施しますので、お知らせします。

※ ニイガタコラボレーターズとは、新潟県が取り組むべき広域的な施策を推進するために委嘱する「地域おこし協力隊」です。



ニイガタ
コラボレーターズ
プロジェクト
グッとコラボレーション。

記

1 日 時 令和8年11月2日（月）午後1時30分から2時00分まで

2 会 場 十日町高等学校 探究ルーム

3 出席者

地域おこし協力隊	栗原 季佐（くりはら きさ）氏
一般社団法人にいがた圏 代表理事	大塚 眞 氏
一般社団法人にいがた圏 事務局長	小海 航 氏
十日町高等学校 校長	小林 英明
新潟県教育庁高等学校教育課将来構想推進室	
副参事指導主事	内川 未奈希

4 内 容

- (1) 隊員委嘱状の交付
- (2) 協力隊員より着任あいさつ
- (3) 一般社団法人にいがた圏、十日町高等学校からひとこと

5 その他

取材はフルオープンです。委嘱式終了後、隊員等がぶら下がり取材に応じます。

本件についてのお問い合わせ先
将来構想推進室長 菅 一典
(直通) 025-280 - 5767 (内線 3948)

「新潟県地域おこし協力隊」(十日町高等学校 STEAM・教育連携コーディネーター)

栗原隊員のプロフィール

【名 前】栗原 季佐 (くりはら きさ)

【出身地】東京都北区出身、東京都北区から転入

【経 歴】建築を学んだ後、組織設計事務所にて駅舎・公共施設等の設計に従事。その後、自然素材を用いた伝統技法に長けた職人たちと協働し、住宅や店舗内装の設計や現場管理に携わる。

【趣 味】散歩、編み物

【目 標】

「問いを、遠くへ飛ばそう。」

「興味や関心の向かう先へ、まずはボールを遠くに飛ばしてみよう」。これは学生時代に恩師からかけていただき、今も指針となる言葉です。生徒の皆さんの好奇心から始まる探究が、地域を拠点に、大学・企業・専門家など、さまざまな出会いを通じて、新たな発想や挑戦へ踏み出す冒険となるよう、橋渡しや環境づくりに尽力したいと思います。

【活動への意気込み】

これまで16年間携わってきた建築設計の仕事は、私にとって探究の連続でした。ご縁から問いが生まれ、専門家の知見を集め、対話や試行錯誤を重ねながら形にし、また次の問いが立つ。大きな膜屋根形状のプログラミングや土蔵づくりのワインセラーなど、さまざまな案件で繰り返してきたこのプロセスが、「探究学習」そのものに通じると感じるようになり、関心を深めてきました。

今度は「クロス探究科」の生徒の皆さんの学習を支える立場として、経験を活かしたいと考えています。一人ひとりの好奇心を大切にしながら、答えのない問いに向き合う歩みに寄り添い、それぞれの未来を切り拓く力につなげていければと思います。

また、土器や土偶をつくる陶芸教室の内装設計に携わった経験から、縄文土器の文化が息づく十日町市とのご縁を感じています。

私にとっても、教育は新たな挑戦であり、これから始まる探究です。生徒の皆さんとともに、地域の皆様から多くの学びを得たいと思います。

